

総合学習支援プログラム


出張授業案内



四国学院大学

SHIKOKU GAKUIN UNIVERSITY

Comprehensive study support program

お申し込みは… 四国学院大学入試課  0120-459-433

応用社会学科 出張授業一覧

授業名

● 犯罪を通してみる「世の中」

授業内容

なぜ犯罪は消滅しないのか？犯罪について世間で受け入れられている見解に焦点をあて、私たちの生きる「社会」のありようを浮き彫りにする。



担当者名 助教授/竹本 達也

授業名

● 憲法と私たちの生活

授業内容

憲法は国の最高法規として私たちの生活の場で重要なはたらきをしている。判例を素材に、今回は基本的人権の中で最も根源的といつてよい「平等権」をとりあげてみたい。



担当者名 教授/根本 博愛

授業名

● 「異邦人」になってみよう

授業内容

新聞やテレビで「国際化」「グローバル化」「地球市民」という言葉を目にしたり耳にしたりすることがあっても、自分のこととして実感するのはなかなか難しい。異文化に飛び込んで他人のこと・自分のことを知ろうとする、文化人類学とフィールドワークについてお話します。



担当者名 助教授/吉田 世津子

授業名

● スポーツと社会

授業内容

スポーツは現代社会においてもはや欠くことのできない身体文化である。近代スポーツの200年の歴史を社会事情との関連で振り返り、その特徴と内包する問題を取り上げる。高度化する競技スポーツだけでなく、誰もがいつでもどこでも楽しめる生涯スポーツがどのように展開されるかを併せて取り上げてみる。



担当者名 教授/吉田 豊

授業名

● ディベート入門

授業内容

ディベート教育の必要性は、文部科学省、旧通産省、経済産業省によっても主張されている。キレル・ムカツクのではなく、ルールに従って議論すること、無知・無関心からコントロールされるのではなく、自立することを学ぶ。プレゼンテーション、論理的展開などディベートの仕方に加え、該当テーマも深く学ぶ。自己の判断力、ひいては世界観、歴史観、そして人生観の形成に役立てる。テーマとしては、医療・生命倫理な脳死移植、安楽死・尊厳死、ガン告知など、政治問題なら国防、九条・自衛隊など、歴史問題なら原爆投下、東京裁判、戦争責任など、身近なテーマなら女性の社会進出、国際結婚、美容整形なども可。必要に応じてオーダー・メイドのテーマも可能。



担当者名 教授/山崎 和明

授業名

● 若者の過去・現在・未来 ～大人になるといふこと～

授業内容

大人になれない／ならない若者が増えているという。何が、彼らをして大人社会への移行を遅らせているのか。それは、現代社会の何らかの問題状況を反映しているのだろうか。しかし、既存の価値・制度が揺らぎはじめ、人々の絆のあり方が問い直されている今、そもそも「大人になる」とはどういうことを指すのだろうか？従来、卒業し、就職し、結婚し、子どもをもつことが「大人であること」の条件と捉えられてきたけれども、それはこれからも「大人」の条件であり続けるのだろうか。この授業では、「大人になる」ということが、過去の私たちの社会でどのように考えられてきたかを歴史的に洗い直しながら、若者が「今」という時代を生きる意味とその未来について考える。



担当者名 教授/佐藤 友光子

授業名

● NGOって、なんだろう

授業内容

NGOって、テレビとか新聞でよく聞くけど、いったいどんな人たちが何をしているところなの？ボランティアとどこが違うんだろう。講師が自らの経験に基づき、わかりやすく概説します。



担当者名 助教授/安部竜一郎